



「ハレノヒ」 2011-12年/パネル、胡粉・墨・箔・モデリングペースト/190×660cm/作家蔵



「塩と土」(全体)



「山の線の緑日」(部分)



「山の線の緑日」 2016年/麻布、胡粉・ゼリッ、水干・墨・箔/520×140cm/作家蔵 (全体)



「塩と土」(部分) 2018年/麻布・胡粉・水干・墨・箔・益子の土/160×145cm/作家蔵

「N.E. blood 21」は、精力的に制作、発表活動を行う東北・北海道在住若手作家を紹介するシリーズ企画です。美術館とアーティストとの新しい関係を模索しつつ、作家同士のネットワーク形成を念頭に置き複数の作家の個展を開催しています。通算第82回目は、宮城県仙台市在住の作家 田中望(たなかのぞみ)を紹介します。

田中はフィールドワークによる取材を基に、その土地の記憶や人々の暮らし、文化を絵巻を思わせる画面で描いています。本展では、気仙沼地域を取材対象とした最新作や灯籠仕立ての作品など併せて約20点を展示します。



「うさぎの山菜や」 2022年/パネル、胡粉・ゼリッ、水干、墨、箔、パステル/45×61cm

田中望—TANAKA Nozomi—

1989年生まれ。2017年 東北芸術工科大学大学院 芸術工学研究科 芸術工学専攻 博士課程修了、博士(芸術工学)。

衣食住をはじめとした暮らしを取り巻く環境とそのコンテクスからなる場所 place を対象に、芸術的アプローチからフィールドワークを行い、現場で生じた問いを表現する。研究では、地域のアートプロジェクトにおけるサイトスペシフィックな表現、地域の場所性(文化や歴史、人々)との関係性の中で立ち現れる表現について研究している。また、まちづくりとアートの関係について、地域における創造活動の面から分析、実践している。

芸術工学会会員、みやぎ在来作物研究会。2023年4月より、東北工業大学生活デザイン学科専任講師。

N.E.blood 21

Vol.82

田中望展

5.31 ▶ 7.17

同時開催

N.E.blood 21

Vol.83

小太刀理予展

絵画/北海道

<観覧無料>

リアス・アーク美術館利用案内 ●常設展①美術作品展 ②歴史民俗資料展＝方角日記～海と山を生きるリアスなくらしー ③東日本大震災の記録と津波の災害史展【常設観覧料】一般:700(600)円/大学・専門学生:600(500)円/高校生:500(400)円/小中学生:350(250)円 ※①内は20名以上の団体料金 ●ワークショップ＝土・日を中心に開場するアトリエ ●レストラン「キッチンスペース夢の舎」＝地元食材中心の創作料理をご提供。日替りランチ、シールド系パスタ・カレー・ラーメンが人気です。

- 三陸自動車道【気仙沼中央IC】から約5km(仙台市から約115km/石巻市から約70km/陸前高田市から約25km)
- 東北自動車道【一関IC】から約50km ◆無料駐車場あり(普通 37台・大型5台)
- 東北新幹線【一関】—(大船渡線)—【気仙沼】/東北新幹線【仙台】—(気仙沼線)—【気仙沼】▶気仙沼駅からタクシー(約15分)をご利用ください。 ※【タクシー割引券】と「常設展観覧券引換券」のセットクーポン券が気仙沼駅前観光案内所、(一社)気仙沼市観光協会(電話:0226-22-4560)で販売中。※現在、気仙沼線【前谷地～気仙沼】間、大船渡線【盛～気仙沼】間はBRT運行。

リアス・アーク美術館

ホームページQRコード

